

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年4月13日

【評価実施概要】

事業所番号	3091500052
法人名	株式会社グレートホーム
事業所名	グループホームいとが
所在地	和歌山県有田市系我町西43-3 (電話) 0737-88-2025

評価機関名	社会福祉法人 和歌山県社会福祉協議会		
所在地	和歌山県和歌山市手平二丁目1-2		
訪問調査日	平成21年3月31日	評価確定日	平成21年4月13日

【情報提供票より】(21年3月6日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成19年10月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤 15人, 非常勤 3人, 常勤換算	16.1人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2 階建ての	1 階 ~	2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	円
敷 金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000円		

(4) 利用者の概要(3月6日現在)

利用者人数	17 名	男性	4 名	女性	13 名	
要介護1		4 名	要介護2		6 名	
要介護3		3 名	要介護4		4 名	
要介護5		0 名	要支援2		0 名	
年齢	平均	84.4 歳	最低	70 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	高垣医院、大中歯科医院、栗原整形外科
---------	--------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業所設立後初めての自己評価・外部評価を、サービスの見直し向上させるよい機会と捉え、現在出来ていること・出来ていないことを検討し、出来ていないことについての改善への意欲が伺われる。地域の繋がりが深く伝統的な行事も多いところに立地しており、地域における一つの「家」として祭りやホームの行事等を通じ地域の人々と交流を密にしている。職員は採用時自分が認知症になればどうのような対応してほしいかを考えるよう研修しており、また職員には挨拶の重要性を認識し基本的な接遇マナーを身につけることを育成の基本としている。利用者とともに新聞のチラシを見て食材の買出しに行き食事づくりをするなど、出来るだけ利用者のもてる力を活かし家事などの役割をしてもらっている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	今回が始めての外部評価である。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	今回の自己評価については、職員のミーティングで周知し、評価項目の実施状況について現在出来ている・出来ていないを検討し、管理者が取りまとめた。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議では、ホームの理念、グループホームの特徴、入居者の現状や行事などを報告し、メンバーから質疑等がなされている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	玄関にご意見箱を置いており、また家族から意見や苦情等が出されたこともあるが、内容や対応の記録は残されていない。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域で行われる祭りなどに参加したり、ホームの夕涼み会やもちつき会に自治会や老人会、地域の子ども達も来訪して地域の人々との交流を行っている。

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホームの理念は「いとが」の名称から「いつも、ともに寄り添い、あなたのかがやくすがたを見ていたい」としており、ホームの理念と一緒に掲げられている法人理念の中には「地域のつながりを重視し慣れ親しんだ地域や自然の中で安心して社会生活を継続できるよう支援します」という趣旨が示されている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホームの理念は職員が利用者の立場に立って、どういふ対応やホームがよいかを考え、分かりやすくまとめあげたもので、職員は理念を共有しており、玄関に掲げ月一回行うミーティングでも話しており、日々どのような些細なことにも理念を念頭に置いて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域で行われる祭り等に参加したり、ホームで夕涼み会、もちつき会を行ったときに、自治会や老人会、子ども達等地域の人々に来訪してもらい交流している。また近くの小学生がホームの介護の現場を見学に来ることもある。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回が初めての評価であるが、自己評価については職員のミーティングで周知してサービスを向上するよい機会と捉え、評価項目の実施状況について現在出来ている・出来ていないを検討し管理者が取りまとめた。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議ではホームの理念や、事業所の沿革、グループホームの特徴、入居者の現状や行事などを報告し、メンバーから質疑等がなされている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市とは、ホームの運営上分からないことがあればこちらから訪問や電話で尋ねたり、また市職員がホームに立ち寄ってくれて情報や意見を聞く等、互いに行き来しサービスの向上に活かしている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族等には、来訪時や電話でその都度利用者の暮らしぶりや健康状態を報告しているが、ユニットにより定期的にはなされていない。なお買い物の代金を立て替える時もあり、月末に家族に請求し納入があれば領収書を渡している。	○	利用者の状態を定期的に家族に報告する方法を検討されることが望まれる。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホーム内にご意見箱を置いたり、また来訪時に家族から直接職員や管理者に意見等が出されたこともあるが、記録されていない。	○	意見等があれば記録し適切な対応を行い、運営に反映することを期待する。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	基本的にはユニットごとに職員を固定しているが、移動や退職があり新しい職員が入って来たときは、利用者に対し挨拶することの大切さを話しており、管理者・先輩職員がサポートし先ず利用者で紹介し職員からコミュニケーションをとって徐々に利用者の輪の中に入れていくようにしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所内における研修では、虐待防止、成年後見制度、口腔ケア、服薬管理等のテーマで実施されている。また外部研修でも県グループホーム連絡会や介護普及センター等が開催する研修にも参加しており、出席者は研修内容を報告している。職員は業務の都合もあるがほぼ順番に参加することができる。なお新任職員が入って来たときは、初日に認知症の基本的な知識や挨拶などの接遇マナー等を研修し、約1か月後に介護職員としての適性と、1人立ちできるかどうかを見極め指導している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県グループホーム連絡会へ加入しており同業者と交流しているが、他の事業者との相互実習は行っていない。	○	ホームのサービス向上の参考とするためにも他の同業者との相互実習の実施を期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	先ず利用者・家族にホームを見学してもらい、入居後は本人と家事等を一緒に行いながらよく話しを聞くようにコミュニケーションをとるようにしている。家族には利用者の状況を報告して連絡を密にしており、徐々に職員や他の利用者、場の雰囲気に馴染んでもらっている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人の出来ることは自分でしてもらい、出来ないことを職員が支援するという姿勢を常に念頭に置いて接している。なお利用者と一緒に過ごしながらか年中行事や家事を行っており、その過程で利用者から調理の仕方等家事の経験から学ぶことがある。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員間のミーティングで利用者一人ひとりの希望や意向などについて検討し、把握するように努めている。なお利用者の希望に配慮し共同室の片隅にコーヒーが自由に飲めるポットを置いたり、玄関を入ったところに外部が見えるように机・椅子を置いている。また希望や意向等の把握が困難な場合は、家族から利用者の情報などを聞き参考にしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族・本人の意向を踏まえ、ミーティングにおいて職員間で気付きや意見を出し合い、利用者の介護計画を作成している。また、家族が来訪時に説明し同意を得ている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は心身の状態等が安定している人については1年に1度、心身の状態等に変化があれば、6か月または3か月に一度、職員間で話し合い見直している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ホームは利用者と一緒に四季に応じて初詣、花見、紅葉見物等の外出や、好みの外食などに出かけることを支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居契約時にかかりつけ医について本人・家族の希望を聞くが、ホーム近くの協力医療機関を大部分が希望しており、受診を支援している。他に希望するかかりつけ医(病院等)に受診するときは原則として家族が付添って行っている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化したときや終末期について、家族との話し合いを含め関係者が話し合って方針を共有するまでに至っていない。	○	今後は重度化したときや終末期にどうするかについて、本人・家族及び職員等で話し合い方針を共有することを期待する。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員には日ごろ利用者の立場に立って接し、誇りを傷つけたりプライバシーを損ねるような言動がないように注意している。また職員は採用時に守秘義務について誓約書を提出し、記録には利用者の名前をイニシャルで書く等留意している。記録類は事務室の鉄庫に保管し施錠している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事の時間、入浴時間の他は時間を決めておらず、利用者がどのように過ごしたいか、希望するペースに沿って見守りながら支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	新聞の折込チラシを見ながら献立について職員・利用者間で話し合い、食材の買物に行き調理の準備や盛り付け、配膳、食後の片付けに至るまで利用者が手伝っている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者全員に入浴の希望を確認し、毎日、日中(午前8時半頃から夕食前まで)であれば何時でも入浴出来るよう支援しており、仲の良い利用者が一緒に入りたい希望にも応じている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の過去の生活歴やもてる力を活かし、調理や掃除、洗濯物干しやたたみなどの家事、プランターでの野菜や花作り、ゴミ出しなどの役割をしてもらっている。また買い物や外食などの楽しみごとや気晴らしを支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者それぞれの希望に沿って買い物や喫茶店に行ったり、近辺の散歩などの外出を支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中玄関には鍵をかけていない。外へ出る人には職員が行動を見守りついて行くようにしている。なお居室にも鍵をかけていない。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署との連携により、災害時の避難訓練を年1回実施し消火訓練も行っている。地域の人々へは災害時協力を得られるよう自治会長、班長を通じて働きかけを行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	昼食が肉類であれば夜は魚類とし、野菜は毎食摂るようにして、栄養バランスを考えている。また栄養過多にならないよう注意している。食べる量や水分摂取量を毎食後記録しており必要な量が確保できるように配慮している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間や食堂などには壁面に行事の写真や手作りのカレンダーなどを掲げ、また鉢植えの木等を置いている。室内の明るさや、テレビ、職員の声のトーンも適当と感じられた。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、テレビや家具を持ち込んだり、ぬいぐるみを置いたり、また行事の写真を貼ったりして自分の部屋と感じられるように配慮されている。		